

2020年7月8日

各位

**COVID-19 ワクチン開発に関するメディカゴと GSK との提携
および第 1 相臨床試験の開始について**

田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：上野 裕明、以下、「当社」）は、連結子会社であるメディカゴ社（本社：カナダ ケベック市、代表取締役：ブルース クラーク）が、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の予防をめざした植物由来のウイルス様粒子（VLP*）ワクチン（以下、「本ワクチン」）の開発において、グラクソスミスクライン社（本社：イギリス ロンドン、以下、「GSK」）と協業契約を締結した旨、発表しましたので、お知らせします。メディカゴ社は、7月中旬に、本ワクチンの第 1 相臨床試験を開始します。

本提携では、メディカゴ社が COVID-19 に対応した VLP を作製し、GSK がアジュバントを提供します。アジュバントは、医薬品の効果を高めるまたは補助する目的で併用される物質で、ワクチンに添加することで、免疫反応を高めるとともに、1 回の接種に必要な抗原量を減らすことで、ワクチンの生産数量を増やすことが期待されます。本ワクチン開発での協業を通して、より効果の高いワクチンを、より多くのおみなさんにお届けしてまいります。また、本ワクチン開発での提携を踏まえて、両社は今後、COVID-19 以外の感染症に対するワクチンの開発にも、両社の技術を利用することを検討していく予定です。

7月中旬に開始を予定している本ワクチンの第 1 相臨床試験では、GSK のアジュバントまたはその他のアジュバントを添加し、3 用量のグループにわけて、21 日間隔で 2 回接種し、安全性と免疫原性を評価します。

当社グループは、本ワクチンの開発における GSK との提携を通し、喫緊の社会課題である COVID-19 の感染予防に取り組みます。本ワクチンを一日も早くお届けできるよう取り組むことで、感染症予防により一層貢献してまいります。

* VLP=Virus Like Particle（ウイルス様粒子）

▪ メディカゴ社リリース（現地時間 2020 年 7 月 7 日付）

GSK and Medicago announce collaboration to develop a novel adjuvanted COVID-19 candidate vaccine.

田辺三菱製薬株式会社 広報部

（お問合せ先） 報道関係者の皆様

TEL：06-6205-5119

VLP ワクチンについて

ウイルス様粒子(Virus Like Particle)製造技術を用いた新規ワクチンです。VLP は、ウイルスと同様の外部構造を持ち、ワクチンとしての高い免疫獲得効果（有効性）が期待されることに加え、遺伝子情報を持たないため体内でウイルスの増殖がなく、安全性にも優れる有望なワクチン技術として注目されています。また、植物を使用した VLP 製造技術により、短期間で大量生産が期待されます。